

コンビ ピー スマイル

HQ-379

取扱説明書

品質保証書付

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



安全基準 A 型
(2ヵ月～2才まで)

目次	●ご使用前に……………1	●キャスターの使いかた……………8
	●安全にお使いいただくために	●リクライニングの使いかた……………9
	△警告……………1	●アームレストカバーの取り扱いかた…9
	△注意……………3	●ショルダーストラップの使いかた……10
	●各部のなまえ……………4	●買い物カゴの取り扱いかた……………11
	●本体の開きかた……………5	●日除けの取り扱いかた……………11
	●フロントガードの使いかた……………5	●本体の折りたたみかた……………12
	●シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の使いかた…6	●保管のしかた……………12
	●足のせの使いかた……………6	●日常のお手入れ……………13
	●着脱シートの取り扱いかた……………7	●点検とアフターサービスについて……13
	●フロントカバーの使いかた……………7	●品質保証書……………14
	●ストッパーの使いかた……………8	●SGマークの被害者救済制度……………14

ご使用の前に

- この製品の目的は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 対象年齢：生後2ヵ月以上満2才まで
- 望ましい連続使用時間：2時間以内
- 組み立てる前に、14ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
- ロットNo.（後脚後側に貼ってあるシールに記載されています。）
- お客様のお名前・ご住所・電話番号
- 販売店名

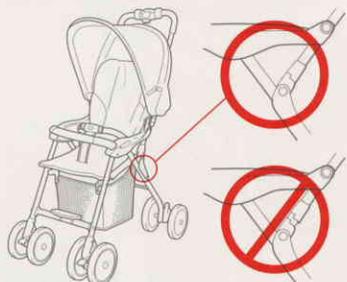
安全にお使いいただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



●ロックがかかっている
開閉ロックが下がって
間に空きがない。

●ロックがかかっていない
開閉ロックが上がって間に
空きがある。

- 乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損/異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社お客様相談室にご連絡ください。



乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。



- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。





警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



注意

誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。



警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。

事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。



- ベビーカーに同時に2人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。



ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

- 乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。



- 乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中 / 車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



⚠ 注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

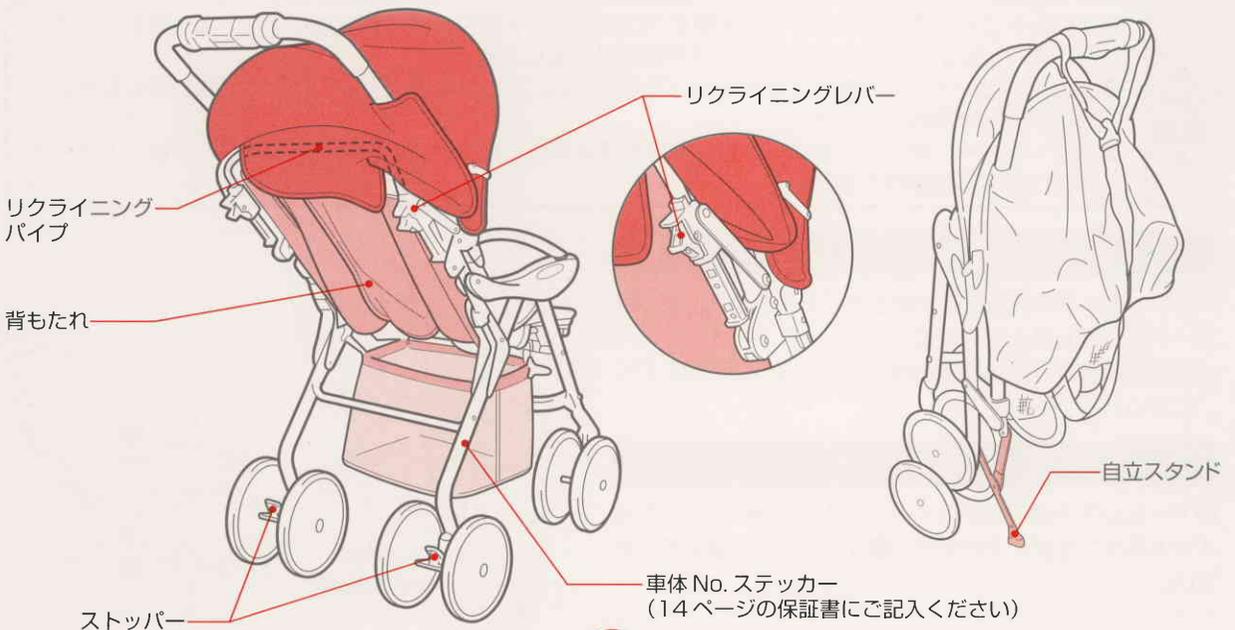
- シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- 幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さい子供を近づけずに行ってください。
指をはさんだりするおそれがあります。
- 乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。
破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは歩いてください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 踏切を渡るときは、できるだけ線路に直角に進んでください。
ななめに渡ると車輪をとられたり、線路の溝に車輪がはさまるおそれがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- 乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。乳幼児が抜けだしたり、落下するおそれがあります。
- ご使用前に、ネジやナットにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社お客様相談室にご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 電車などでの使用について
本製品は電車などでの使用を目的として設計されたものではありません。
電車などの中ではできるだけ、ベビーカーを折りたたんでいただくことをおすすめします。
本製品を電車などの中で使用するときは、急発進や急停車などの衝撃のおそれがありますので、十分ご注意ください。

(開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。)

各部のなまえ (取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。)

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたら全て揃っているか確認してください。

- 本体
- ショルダーストラップ
- 買い物カゴ
- 取扱説明書 (本書)
- 日除け
- フロントカバー



本体の開きかた

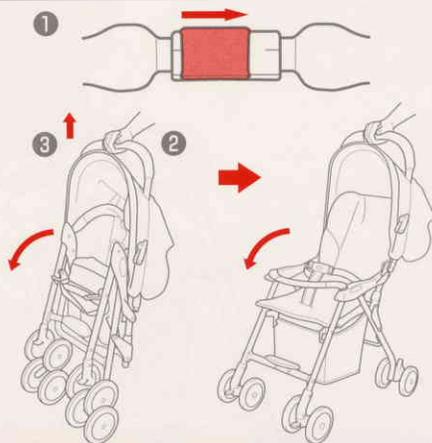


- 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。(右図参照)
- 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。



- ベビーカーを開くときは他の人に触らせないでください。手をはさむ原因となります。
- 子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際、ぶついたり引きずったりしないでください。変形や、破損のおそれがあります。

- ①手元ロックスライダーをずらし、ロックを解除します。
- ②折りたたみレバーを握り、本体のロックを解除します。
注意 本体を持ち上げた状態で折りたたみレバーを握り、本体のロックを解除しないでください。破損のおそれがあります。
- ③折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げるようにしますと開きはじめます。



フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず乗せ降ろしが楽にできます。



- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜けだしや立ち上がり防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。



- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのけがの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

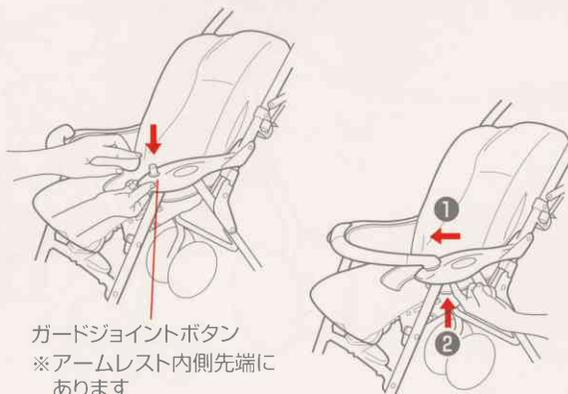
取り付けかた

フロントガードの前後を確かめ左右のアームレスト先端のガード穴に差し込んでください。

※確実に固定されたか必ず左右ともひっばって確認してください。

取りはずしかた

- ①アームレストの下側からアームレスト内側のガードジョイントボタンを押上げながら②片方づつ引き抜いてください。



シートベルト（股ベルト・腰ベルト）の使いかた

ここでは、股ベルトと腰ベルトを総称してシートベルトと呼びます。



警告

- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せるとお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜けだし、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、しっかりと締めてください。

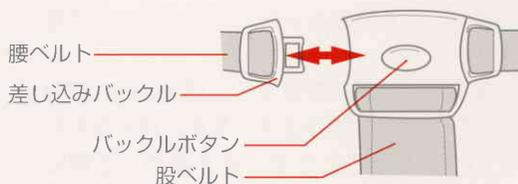


注意

- ベビーカーを開くときには他人に触らせないでください。手をはさむおそれがあります。
- 子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

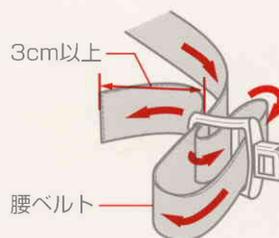
シートベルトの締めかた、はずしかた

- シートベルトを締めるときは股ベルトのバックルに左右の腰ベルトの差し込みバックルを確実に差し込んでください。
腰ベルトを引っばってはずれないことを確認してください。
- はずすときは股ベルトのバックルボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずれます。



シートベルトの長さ調節のしかた

- ベルトの長さは右図のように調節します。
- 端末まで腰ベルトは 3cm 以上余裕をもたせてください。
- 長さ調節のときに腰ベルトのバックルを取りはずした場合は、右図にしたがって確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全ですと使用中にベルトが抜けるおそれがあります。



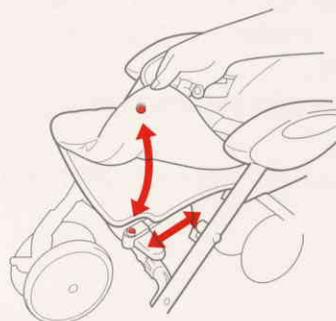
足のせの使いかた



注意

- 足のセバーは左右同時に引き出してください。片側だけを引き出すと場合によっては 抜けることがあります。

足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。左右の足のセカバーを引き出し、シート前端のホックをとめます。使用しないときはホックをはずし、足のセカバーを左右とも押し込んでください。



着脱シートの取り扱いかた



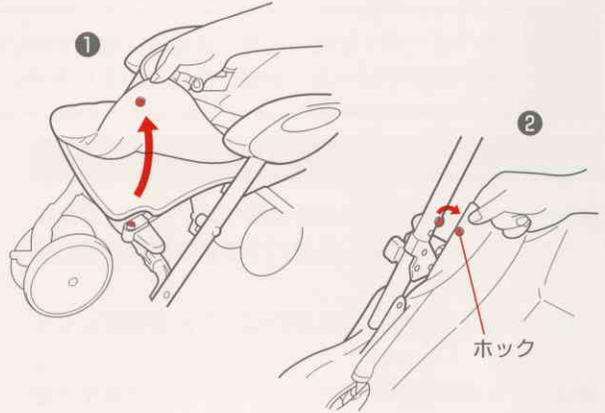
注意

- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能がはたせなくなるおそれがあります。
- シートを取り付ける際に、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全だと、ケガややぶれなどの原因となります。

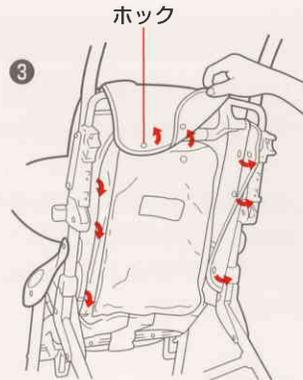
取りはずしかた

- ①まず、足のせを使っているときはシート前端のホックをはずします。
- ②背もたれを倒し、左右のハンドルパイプにとめてある側面の布のホックをはずします。
- ③背もたれ裏側の8カ所のホックとマジックテープをはずします。
- ④シートベルトのバックルをはずし、バルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルが通し穴に引っかかることがありますから、丁寧に扱ってください。

※取り付ける場合は逆の手順で行ってください。



シートは洗濯機で丸洗いができます。
洗濯方法は13ページをご覧ください。

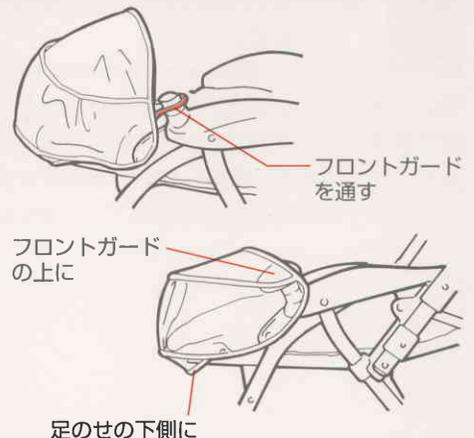


フロントカバーの使いかた

まず、足のせを引き出し、シートのホックをとめてください。

- ①フロントガードを開き、フロントカバーのゴムベルトに通します。ゴムベルトはフロントガードの付け根にかけます。
- ②フロントガードを閉じて、フロントカバーの上面をフロントガードにかぶせます。底面は使用時は常に足のせの下側になるようセットしてください。

※材質の特性上フロントガードや日除けの色が移ることがあります。



ストッパーの使いかた



警告

- お子さまや荷物を乗せたときにはストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

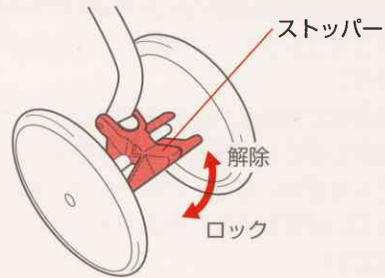


注意

- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。

- 左右の後車輪の内側にあるストッパーを下におろせばストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーが正しくかかっているか確認してください。

- 解除するときは、ストッパーを上げてください。

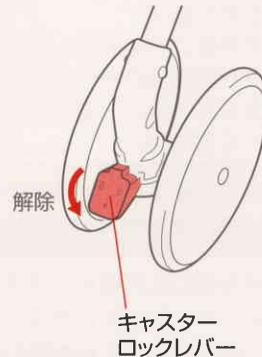


キャストの使いかた

- キャストを使用すると、平坦な路面を押すときに前輪の向きが変わり、スムーズに方向転換できます。
- 坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャストをロックすると押しやすくなります。

キャストを使用するとき

図のようにキャストロックレバーを下げ、ロックを解除します。



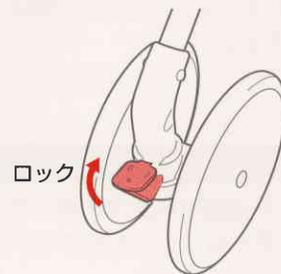
キャストを固定させるとき

図のように、キャストを進行方向に対して真後ろになる位置に合わせてキャストロックレバーを上げます。

※ご注意

このベビーカーはキャストを固定しないと折りたためない構造になっています。

ベビーカーを折りたたむときは必ずキャストを左右とも固定してください。

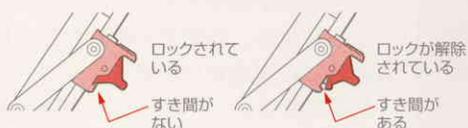


リクライニングの使いかた



注意

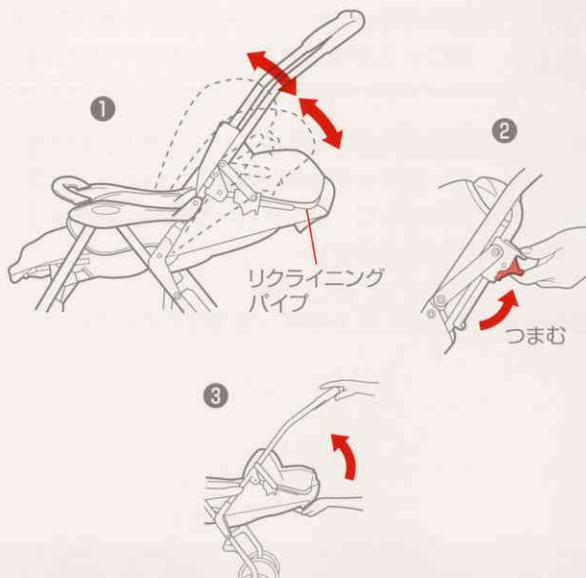
- リクライニング操作後、リクライニングレバーが左右とも同じ位置に確実にロックされていることを確認してください。
- 危険ですのでベビーカーを押しながら操作しないでください。



- ①背もたれの角度は3段階に調節できます。
※お子さまの首がすわるまでは一番倒した状態でお使いください。

倒しかた

- ②左右のリクライニングレバーを指でつまみながら背もたれを倒します。
※お子さまを乗せて背もたれを倒すときは、リクライニングパイプを少し起こし気味にしてリクライニングレバーをつまんでください。なお、このときは、お小ささまの体重がかかっていますから急に角度が変わらないよう十分ご注意ください。



起こしかた

- ③片手でハンドルを押さえながら、片手でリクライニングパイプを押し上げてください。
(起こすときは、リクライニングレバーはつまみません。)

アームレストカバーの取り扱いかた



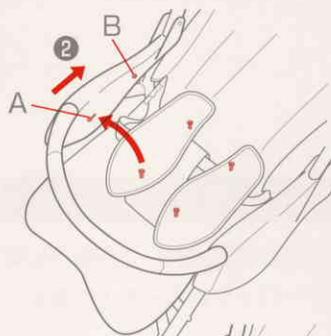
注意

- アームレストカバーを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生したアームレストカバーはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込むおそれがあります。
- アームレストカバー後部を正しい位置に入れずに背もたれを上げると変形します。必ず正しい位置に入れてください。

アームレストカバーは必ず取り付けてご使用ください。

取り付けかた

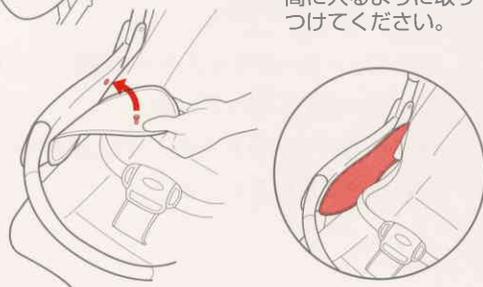
- 背もたれをいちばん倒した角度にします。
イラストのように、アームレストカバーの左右を確認し、
①前側の「突起」をアームレスト内側前部の穴 (A) に差し込み、②後方にずらしします。③次に、後側の「突起」をアームレスト後部の穴 (B) にはめ込んで取り付けます。
ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかかるなにか確認してください。



アームレストカバー後部は、アームレストと背もたれ側面の間に入るように取りつけてください。

取りはずしかた

- アームレストカバー後部の突起を内側に強く引っばっては
ずします。次に、アームレストを前方にずらせば取りはず
せます。



ショルダーストラップの使いかた



警告

- ベビーカーをひろげて使用するときには、必ず買い物カゴに収納してください。障害物などに引っかかって転倒のおそれがあります。



注意

- 混雑した場所では、他人の迷惑になることがありますので使用しないでください。

取り付けかた

ベビーカーをひろげた状態で取り付けます。

- ①ショルダーストラップ下端のバックルをベビーカーの座面裏側のフレームに通し、図のようにとめます。(文字のある側が表です。)
- ②ショルダーストラップの上端の2本のベルトを図のようにハンドルグリップに巻き、ホックでとめます。このとき、ストラップがねじれないように取り付けてください。
このとき、「左右のハンドルグリップに分ける」「右側にまとめる」「左側にまとめる」という取り付け方ができます。肩にかけやすい位置に取り付けてください。
- ③ベビーカーを折りたたみ、肩にかけやすい長さにバックルで調節します。
- ④ショルダーストラップを使用しないときは、ハンドルグリップからはずし、買い物カゴの中に収納してください。このとき、三角形のバックルを買い物カゴ上端にかけておくと再び使用する際、取り出しやすくなります。

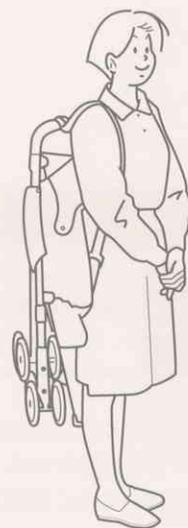
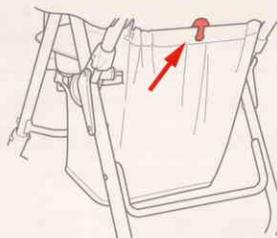
①



②



④



買い物カゴの取り扱いかた



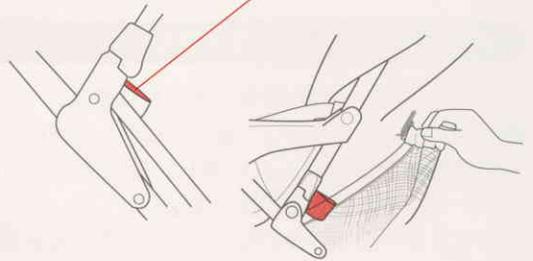
注意

- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、容積の大きいものはのせないでください。カゴの変形やカゴ底面部の破れの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。

取り付けかた

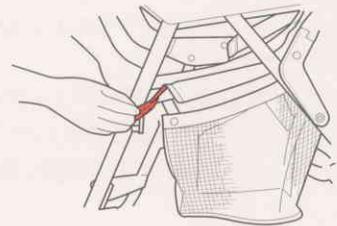
- ①カゴ後部左右の固定用フックをアームレスト後部の腰ベルト後端の筒状のすき間に上から差し込みます。
- ②カゴ前部の固定用ベルトをシート側部のアルミフレームにフックで左右とも固定します。

腰ベルト後端筒状のすき間



荷物について

- できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように乗せてください。
- 荷物の出し入れはカゴの後ろ側から行ってください。



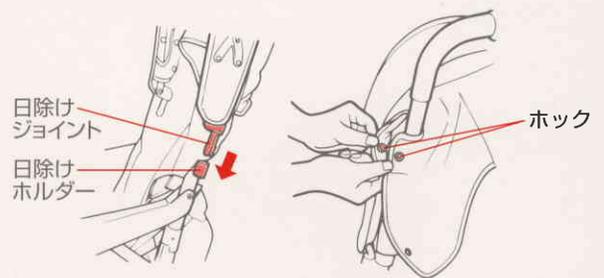
日除けの取り扱いかた



注意

- 保管の際には、日除けの変形を防ぐため、横向きにねかせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。

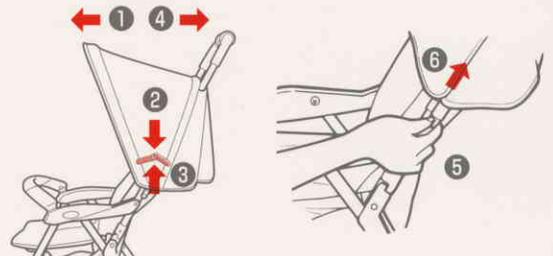
取り付けるときは日除けの前後を確かめて、日除けジョイントを日除けホルダーに確実に差し込んでください。次の図のように左右2個のフックをとめてください。



使用するときは①日除けを前にひろげ、②日除けレバーの関節部を押し下げてください。

ベビーカーを折りたたむときは③日除けレバーの関節部を押し上げ④日除けを後側にまとめます。

取りはずす場合はフックをはずしてから⑤日除けジョイントの下端をつまみながら、⑥引き抜いてははずします。



本体の折りたたみかた

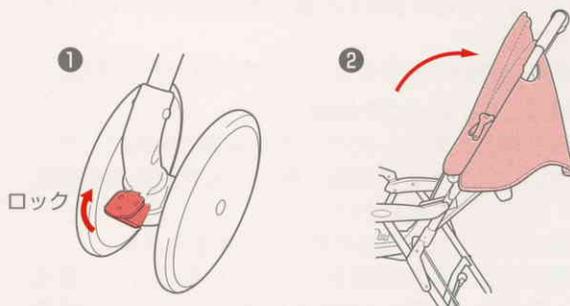


注意

- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。また、折りたたみ操作時以外は握らないでください。
- 手元ロックスライダーをずらさずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じが合った場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむと自立スタンドが出ます。自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際にぶついたり、引きずったりしないようにしてください。自立が不安定になったり破損するおそれがあります。
- 折りたたむ前に、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。

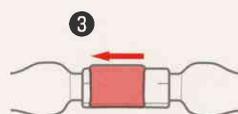
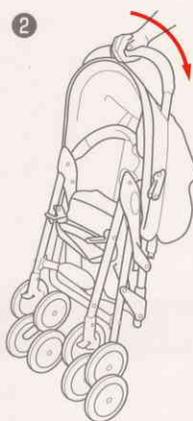
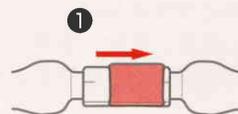
折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

- ①キャスターを固定し、②日除けをたたみます。



折りたたみかた

- ①手元ロックスライダーをずらし、ロックを解除します。
- ②折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に後ろに倒すと折りたためます。
- ③手元ロックスライダーを図のようにスライドさせてロックします。



※ご注意

スムーズに折りたためないときは車体にシートやシートベルトなどがはさみこんでいることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいるものをはずしてください。

保管のしかた



注意

- 火の近くや夏期の車内など高温になる場所での保管はさけてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にしてねかせてください。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

- シートの洗濯
シートは丸洗いでできますが、以下の点にご注意ください。
 - シートの洗濯表示に従って洗濯してください。
 - 洗濯機を使用する場合は40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
 - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
 - 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
 - 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
 - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
 - 日除け、買い物カゴの洗濯
●ブラシなどを使用し40℃以下の液温で手洗いしてください。よくすすいだ後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- ※製品の特性上若干色あせすることがあります。
※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビおむつ肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。

車体の清掃について



- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

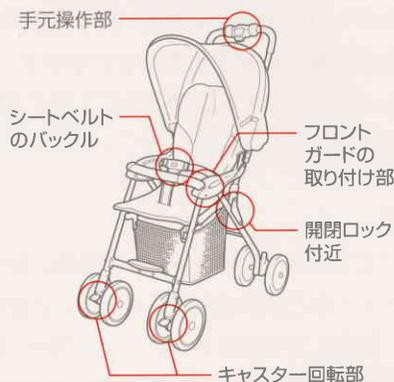
- 車輪やプラスチック部品及び金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について



- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすくなって機能を低下させます。注油箇所の泥や汚れはあらかじめふき取ってください。なお右のイラスト箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、直ちに使用を中止して当社お客様相談室にご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後脚後側に貼ってあるシールをご覧ください。機種名をお知らせください。

お客様相談室 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271 TEL.(048)797-1000 FAX.(048)798-6109
(西日本担当) 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10 TEL.(06)6263-4031 FAX.(06)6263-4533

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。